小学校　国語科　学習指導案

○○立○○小学校
指導者　○○　○○

１．日　時　　令和○年○月○日（○）第○時限

２．場　所　　第３学年　○組　学校図書館

３．学年・組　　第３学年○組（○○名）

４．単元名　　ミニ図書館をつくろう（読むこと）

５．教材名　　『本をしょうかいしよう』　（使用図書は、教科書：○○○○）

６．単元の目標

（１）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。　〔知識及び技能〕（３）オ

（２）文章を読んで感じたことや考えたことを共有することができる。　〔思考力、判断力、表現力等〕Ｃ（１）カ

（３）言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。　「学びに向かう力、人間性等」

７．教材観

本教材「本をしょうかいしよう」は、自分のおすすめの本を選んで友だちに紹介する活動となっている。

そこで、「ミニ図書館をつくって、色々な種類のおすすめの本をしょうかいし合おう」という言語活動を設定した。ここでいう「ミニ図書館」とは、０類から９類の図書が排架されることを条件とした書架のことを指している。既習事項である図書館の十進分類法を活用した「ミニ図書館づくり」を通して、０から９類のさまざまなジャンルの本を選ぶことができると考えた。本教材は、多くの児童が様々な本や文章があることを知り、幅広く読書に親しむきっかけづくりとしてふさわしく、本単元で大切にしたい指導事項の学習に適した教材といえる。

８．児童観

省略

９．指導観

本単元は、学習指導要領国語科第３学年及び第４学年「我が国の言語文化に関する事項」の指導事項「オ　幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと」の内容を重点的に指導するため設定したものである。

３年生の児童にとった事前アンケートの結果（図１）から進んで読書をしようとする姿が見られる一方で、読書傾向に偏りが見られ、幅広く読書に親しむことができていないという実態が明らかになった。そこで、本単元の「ミニ図書館づくり」の言語活動を通して、さまざまな

図―１　事前アンケート

ジャンルの図書に触れる機会を作ることで、幅広く読書に親しみ、さまざまなジャンルの本に触れることを通して自分の興味が広がる楽しさを味わってもらいたいと考えた。また、ミニ図書館の本紹介の交流によって読書が今までに知らなかった知識や情報を得ることに役立つことに気づかせていきたい。

そこで、自ら学習に取り組んでいける学習展開になるように、次のような流れで指導を進めたいと考えた。

第１時は、単元の見通しをもち、本を選ぶ学習を行う。単元の流れを掴ませるために本選びから本の紹介までの過程を授業者が示す。本を選ぶ際には、「みんなが行きたくなる図書館」を視点として持たせ、０～９類までの本を１冊ずつグループで相談して選んでいく。ここでは、指導者が実際にミニ図書館のモデルを示すことで「ミニ図書館づくりをやってみたい！」と思う意欲を引き出すことを大切にしたい。

第２時は、紹介する本を選んで、その紹介文を書く学習である。各班が４冊を選び、その本のどこがおすすめするところなのかについておすすめポイントを話し合えるようにする。書くことが苦手な児童に対しての手立てとして、３種類のワークシートを準備して難易度を分け、児童が選択できるようにした。次時で思判表Ｃ（１）カ、主の記録に残す評価を行うため、本時では、「文章を読んで感じたことや考えたことを紹介文にまとめているか。」、「進んで、紹介したい本の良さを伝え合うために様々な種類の本から選び、感じたことや考えたことを共有しようとしているか。」を見取り指導の改善に生かす。

第３時は、ミニ図書館の魅力を紹介する学習である。ミニ図書館の魅力を伝えるために、一人一台タブレット端末を利用してミニ図書館の写真を撮り、全体へ PR する時間を設定する。交流では、自由に見て回れるように紹介する側と聞く側に分かれるいわゆる「お店形式」にする。児童がミニ図書館の本の魅力をお店形式で５回紹介する。いくつか紹介の様子や方法を取り上げ、全体共有することで内容の改善も促していく。

第４時は、前時を振り返り、読みたいと思った本を手に取れるように「ミニ図書館めぐり」の活動を行う。個人で読んでみたい本を選び、単元を振り返る。ここでは、幅広く読書に親しむことにねらいをおいて、読書の世界に浸れるようにたっぷり時間を確保する。

本単元を通して、児童は、読書の幅を広げ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことを知る中で必要な情報が得られる学校図書館を活用していくことのできる児童をめざしていきたい。

10. 単元の評価規準

知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。　（３）オ	「読むこと」において文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。　Ｃ（１）カ	進んで、紹介したい本の良さを伝え合うために様々な種類の本から選び、感じたことや考えたことを共有しようとしている。

11. 指導と評価の計画（全４時間）

時間	主な学習活動	評価規準（◎記録に残す評価　○指導に生かす評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	●授業者がモデルを示す。 ●単元のゴールを確認する。 ●グループで 10 冊の本を選ぶ。 ●クラス全体でミニ図書館づくりについて共有し、グループで再度 10 冊の本を選ぶ。	○（行動観察）		○（行動観察）
2 (本時)	●班でおすすめの 4 冊選ぶ。 ●どのように紹介するのか話し合う。 ●紹介文を書く。		○（行動観察、ワークシート）	○（行動観察、ワークシート）
3	●ミニ図書館の紹介をする。 ●お店形式で紹介する。		◎（行動観察、ワークシート）	◎（行動観察、ワークシート）

4	●ミニ図書館をめぐる。 ●単元を通した振り返りをする。	◎（行動観察、ワークシート）	◎（行動観察、ワークシート）	

12. 本時の展開　（第２時）

（１）本時の目標

・文章を読んで感じたことや考えたことを紹介文にまとめることができる。　（思・判・表）

・進んで、紹介したい本の良さを伝え合うために様々な種類の本から選び、感じたことや考えたことをまとめようとする。　（学・人）

（２）本時の評価規準　（指導に生かす評価：思判表、主）

・文章を読んで感じたことや考えたことを紹介文にまとめている。　【思判表】

・進んで、紹介したい本の良さを伝え合うために様々な種類の本から選び、感じたことや考えたことをまとめようとしている。　【主】

（３）本時の具体的な子どもの姿（判断の基準）

思考・判断・表現

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子ども(C)への支援
本を読んで、おすすめポイントやミニ図書館の本の魅力をまとめている。	本を読んで、おすすめポイントをまとめている。	・授業者の紹介文を見本として、声かけをする。 ・児童にあったワークシートを使えるように、３種類から選べるようにする。

主体的に学習に取り組む態度

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子ども(C)への支援
進んで紹介したい本の良さを伝え合うために様々な種類の本から選び、感じたことや考えたことをまとめようとしている。	紹介したい本の良さを伝え合うために様々な種類の本から選び、感じたことや考えたことをまとめようとしている。	授業者が具体物や具体例を示し、視覚化するようにする。

（４）本時の学習過程

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
3	①本時のめあてを確認する。 めあて　しょうかいする本を選んで、しょうかい文を書こう。		
１０	②班で４冊本を選ぶ。 ・友達に読んでもらいたい本を班として４冊振り分ける。 ・紹介するといい点について話し合う。 （題名、作者、セリフ、文章、写真、絵、おすすめポイント）	・班で作り上げることを押さえる。 ・「単元のゴール」に戻り、読んでもらえる工夫を考えるように声をかける。	思考・判断・表現 （行動観察、ワークシート） 【指導に生かす評価】
３０	③紹介文を書く。 ・本を読み直す。 ・書き直しをする。 ・班で相談する。 ・紹介の練習をする。	・紹介文のモデルを示すことで、書き方の手立てとする。 ・児童にあったワークシートを使うように促す。	主体的に学習に取り組む態度 （行動観察、ワークシート）
2	④次時の見通しを持つ。	・次時に本の紹介をすることを確認する。	【指導に生かす評価】